

# 平成 25 年度

## 外国人材活用システム構築(留学生支援)

### 1. 「教育機関・企業への受入促進」事業

- 教育機関受入担当者研修会
- 企業向け外国人留学生採用担当者研修会
- オープン講座の実施
- 大阪府事業と連携した留学生相談

### 2. 「留学生教育システム整備」事業

- カリキュラムモデルの実施及びビジネスキャリア教育カリキュラムの開発
- 日本文化理解・定着促進実施カリキュラムの開発

# 「留学生受入担当者研修会」

- 1 日 時：平成25年10月9日（水） 13:00 から 16:30
- 2 場 所：大阪市中央区本町橋 2-5 マイドームおおさか8階  
第1・第2会議室、第6会議室
- 3 参加教育機関：計73名（大学21名、専門学校36名、日本語学校2名、関係者14名）

大阪府内の各教育機関（大学・短大、専修学校、日本語学校）の留学生受入担当者を対象に研修会を開催いたしました。

第2部では課題別に分かれ、グループ討議では活発な意見が交わされました。

### 【第1部】大阪入国管理局による講演



### 【第2部】課題2 グループ討議



時間	プログラム	
12:30~13:00	受付 / 開場【第1・2会議室】	
13:00~13:10	開会の挨拶 公益財団法人大阪府国際交流財団 常務理事兼事務局長 堂本 佳秀	
13:10~14:25	<b>第1部</b> 「留学生の就職にあたって、就労ビザの取得についての注意点」 ～講演と事前質問への質疑応答～ 大阪入国管理局就労・永住審査部門 上席入国審査官 水尾 元	
14:25~14:45	「平成25年度大阪府国際化戦略アクションプログラムについて」 大阪府国際化戦略実行委員会事務局 事務局次長 吉村 圭次	
14:45~15:00	休 憩（課題別に分かれるため、部屋移動）	
15:00~16:30	<b>第2部 課題1【第1・2会議室】</b> 「留学生受入事務についての基本知識と意見交換まで」～在留管理・生活支援・各種手続き・宿舍など～ <講師> 学校法人 上田学園 大阪エンタテインメントデザイン専門学校 学生部 次長 津川 龍一	<b>第2部 課題2【第6会議室】</b> 「留学生の就職活動支援についてのワークショップ」～各学校の支援状況の共有と問題点の解決に向けてのグループ討議～ 1. 基調講演（30分） 株式会社三共製作所 代表取締役社長 松本輝雅 ー質疑応答（15分）ー 2. 課題討議（グループディスカッション）45分 『留学生の日本就職を拡大するために、どのように就職指導を強化すればよいか』
	閉会	

## 【参加者の声】※抜粋

- 就労ビザの取得に当たり、細密な就労内容審査が行われることを今回知りました。来春卒業予定の留学生に対し、改めてコミュニケーションを深めて在留資格の変更等に関して細心の注意を払いたいと考えています。
- 具体的な事例を上げて就労への流れを聞いたかった。
- 先日留学生担当者に配属されたばかりで知識不足だったのですが、在留資格の種類、それぞれの資格を得る為の条件を教えて下さり、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- 留学生を積極的に受け入れている企業からの話は大変興味深く参考になった。
- 初めてこういう研修会に参加したのですが大変わかりやすい説明でいろいろ勉強させていただきました。またの機会があれば、もっとお話を聞きたいです。ありがとうございました。

# 「企業向け外国人留学生採用担当者研修会」

- 1 日 時：平成25年11月26日（火） 15:00から16:30
- 2 場 所：大阪市西区土佐堀1-5-6 大阪YMCA会館 10階 103・104
- 3 参加者：計73名（企業47名、教育機関11名、行政担当者5名、関係者10名）


平成25年度大阪府国際化戦略アクションプログラム事業

代表者・人事ご担当者様

**優秀な外国人留学生を採用・活用しよう！**

## 企業向け外国人留学生採用担当者研修会

外国人留学生の採用について分かりやすく解説する研修会を開催します。外国人留学生の採用検討から実際の手続きや実際に留学生を採用している企業の事例発表等、初めて外国人を採用する企業様にも分かりやすく解説します。

**日時** 平成25年11月26日（火）15:00~16:30

**無料**

**会場** 大阪YMCA会館 10階 103・104  
(大阪市西区土佐堀1-5-6)

**対象・定員** 府内留学生受入企業の担当者  
50名(先着順)

**講演1 「外国人留学生採用の手続き・留意点」**  
講師：大阪入国管理局就労・永住審査部門  
統括審査官 辻本 博徳氏

**講演2 「わが社の外国人留学生の採用と育成の取組について」**  
講師：株式会社 新高製作所  
代表取締役会長 吉谷 忠之氏

**講演3 「外国人留学生を対象としたインターンの取組事例」**  
講師：一般財団法人 大阪労働協会  
ジョブカギ事業担当 リーダー 佐々木 順一氏

**主催**：大阪府国際化戦略実行委員会  
(大阪府・公益財団法人 大阪府国際交流財団)  
**運営事務局**：一般社団法人 大阪府高等学校各種学校協会  
**協力**：大阪商工会議所

大阪府内の企業の留学生採用担当者を対象に研修会を開催いたしました。

外国人の就労ビザに関する基礎知識から、実際に外国人留学生を雇用している企業の事例、また外国人留学生を雇用する上でインターンシップがいかに有効的であるかについて、各講師の方々に講演いただきました。

教育関係者や行政の担当者も参加し、会場はほぼ満員となりました。

【講演1】大阪入国管理局の講演



【講演2】株式会社 新高製作所 代表取締役会長 吉谷様の講演



【講演3】一般財団法人 大阪労働協会 佐々木様の講演



### 【参加者の声】※抜粋

- 留学生を採用している企業からの調査結果をもとに今後の採用方針に対する考案の時間が欲しいです。(より具体的な事例)
- これから、採用を考える段階なので雰囲気をつかみたいと思っていた。内容は既に何人か採用した経験のある方向けのようでしたので参考にさせて頂きたいと思っています。
- 講演1:採用の法規制についてもっと具体的な資料をつけてほしい。講演2:もう少し具体的な採用法、利点、欠点を教えてほしい。実際に採用したイメージがうまくわかるような説明会/講演会が聞きたい。
- もっと具体的に！

# 「大阪府 外国人留学生 就職支援オープン講座」

府内の留学生を対象とした「外国人留学生就職支援オープン講座」を開催しました。

日本企業を知ることから、面接指導に至るまで、留学生が日本で就職活動を行うための基礎を全5回に分け、実施しました。

- 1 日 時：平成25年11月9日、16日、30日、  
12月7日、14日 いずれも土曜日の14:00から16:00
- 2 場 所：大阪市浪速区敷津東2-1-41 南海なんば第1ビル2階 1ーs i t eなんば セミナールーム S5
- 3 対 象：①大阪府内に在住または大阪府内の大学、専門学校等に在籍している外国人留学生  
②日本語能力試験N2、N1取得者  
③全5回受講できる方
- 4 定 員：20名

## 【授業実施内容】

回	実施内容	授業の狙い	受講人数
1	日本企業を知る①	TBS「がっちりマンデー」を通し、日本企業の仕事に対する考え方を知る。	21
2	日本企業を知る②	テレビ東京「カンブリア宮殿」を通し、日本企業の経営理念の大切さ、仕事に対する姿勢と学生自身の考えとのギャップに気づく。	15
3	「働く」とは？	働く目的を明確化し、社会人として求められる能力と自己分析の重要性について考える。	11
4	実際の就活に備えよう① ～履歴書を書こう～	採用に繋がる履歴書作成のための基本ポイントとマナーを知る。	8
5	実際の就活に備えよう② ～面接練習～	留学生がよく聞かれる質問と答え方のポイント、基本マナーを知り、今の自分に何ができて何が不足しているかを体感する。	13



【第1回】日本企業を知る①

映像を見た後、受講生同志でディスカッションを実施しました。



【第5回】面接練習

やってみると難しく、いろいろと気づきがあったようです。

## 【受講生の感想・意見】※抜粋

- ・自分について考える時間になりましたので、役立ちました。このような講座がもっと多くの人々に受け入れられるようになればいいと思います。
- ・5回では物足りないと思っています。来年すぐ就職しませんが、将来に役立つかと思って参加することにしました。やはり参加してよかったと今は思っています。
- ・留学生の就職活動に困ったことがある時、相談窓口があったらいいと思います。
- ・履歴書の書き方、面接の練習はとても役に立ちました。今後もこの講座が続いてほしいです。

## 「大阪府事業と連携した留学生相談」

大阪府国際化戦略実行委員会が主催する事業において、留学生、また留学希望者を対象に相談業務を実施いたしました。その内容について報告いたします。

### 『海外プロモーションでの留学生相談』

#### 1 JAPAN OSAKA 留学&就職フェア IN インドネシア

実施日：平成25年9月22日（日）

場 所：ジャカルタ/バライ・カルティニ

相談員：大阪 YMCA 国際専門学校 田中眞一 相談者計：36名



#### 【質問内容について】※抜粋

- ・日本の大学院への進学相談
- ・講義の受講環境について（言語等）
- ・奨学金について
- ・大学への短期の交換留学制度について
- ・日本の都市の環境について（例：東京と大阪の違い）
- ・留学時の生活費について

#### 2 JAPAN OSAKA 留学&就職フェア IN ベトナム

実施日：平成25年11月3日（日）

場 所：ホーチミン/フートー体育館

相談員：大阪 YWCA 専門学校 白川啓子 相談者計：31名



#### 【質問内容について】※抜粋

- ・日本への留学の方法（手続き、経済状況の説明書類等）
- ・学費、生活費（アルバイト等）について
- ・大学院進学時の日本語能力について
- ・進学先、指導教官の見つけ方について

### 『合同企業説明会での留学生相談』

#### 3 OSAKA ジョブフェア

実施日：平成25年12月3日（火）

場 所：マイドームおおさか

相談員：エール学園 崎村真 相談者計：4名



### 『留学生会館オリオン寮事業への協力』

#### 4 外国人留学生 ジョブマッチングセミナー&就職交流会



実施日：平成25年12月7日（土）

場 所：大阪府堺留学生会館オリオン寮

相談員：エール学園 崎村真、入国管理局申請取次実務者 津川龍一

相談者計：9名

#### 【質問内容について】※抜粋

- ・日本での就職活動について
- ・日本で就職した場合のビザについて
- ・学んでいる内容と、日本企業への応募職種の関係について

## 「カリキュラムモデルの実施及びビジネスキャリア教育カリキュラムの開発」

大阪府内の教育機関にて、留学生対象のビジネス教育に関する授業を実施しました。  
実施する教育機関の留学生に合わせたカリキュラムを開発し、実践した例を報告いたします。  
今後の運用を視野に入れ実施しているため、以下の形式にて協力いただく教育機関に依頼しております。  
留学生へのビジネス教育のモデルとして参考になれば幸いです。

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| A | 大学が自校の教員で独自に実施する形式       |
| B | 大学が専門学校等の協力を得て実施する形式     |
| C | 専門学校が自校の教員で独自に実施する形式     |
| D | 専門学校が他の専門学校等の協力を得て実施する形式 |

- |             |   |    |
|-------------|---|----|
| <b>事例 1</b> | 阪南大学 実施形式：B<br>留学生のためのキャリア・ディベロップメント講座<br>～社会人としての行動能力（社会人基礎力）の養成を目指して～ | 2P |
| <b>事例 2</b> | 追手門大学 実施形式：B<br>外国人留学生のための就職力アップセミナー                                    | 3P |
| <b>事例 3</b> | 日本コンピュータ専門学校 実施形式：C<br>留学生のためのキャリア・ディベロップメント講座                          | 4P |
| <b>事例 4</b> | 大阪成蹊大学 実施形式：B<br>キャリアデザイン講座   | 5P |
| <b>事例 5</b> | 清風情報工科学院 実施形式：C<br>就活準備講座   | 6P |

### 【教材について】

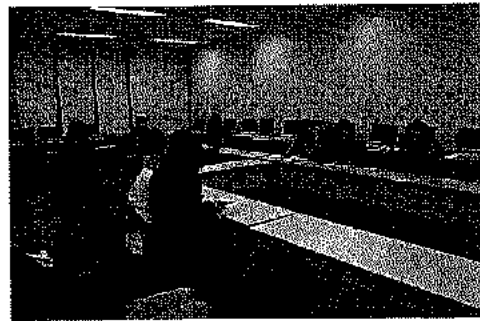
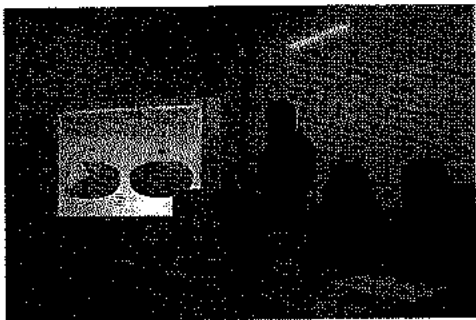
この事業にて開発した教材について、同ホームページ内に掲載しております。

平成 25 年度大阪府国際化戦略アクションプログラム外国人材活用システム構築 開発カリキュラム  
上記名のパナーをクリックしていただきダウンロードください。

**事例1**

- 1 実施教育機関：阪南大学
- 2 実施形式：B（協力教育機関：大阪YWCA専門学校）
- 3 実施講座名：留学生のためのキャリア・ディベロップメント講座  
～社会人としての行動能力（社会人基礎力）の養成を目指して～
- 4 実施授業時間数：8コマ（1コマ90分）

	実施日	授業内容	ねらい
1	12月 3日	テーマ「阪南大学に必要な施設を探る」 (仮題)	動機付け 授業のオリエンテーション
2	12月 5日	現況を知るための情報を集める	情報収集するための過程を知る
3	12月10日	調査の内容、質問項目、スケジュールを 決める	調査計画の立て方を学ぶ
4	12月12日	調査についてロールプレイ	必要な言語能力（敬語など）を身に付ける
5	12月17日	大学構内にてインタビューを行う	調査実施
6	12月19日	結果をまとめ、グループでディスカッシ ョンをする	結果の集計、分析方法を学ぶ
7	1月 7日	PP資料を作成し、プレゼンテーションを 行う	発表についての資料作成、プレゼンテーションの 仕様を考える
8	1月 9日	活動全体を振り返り、教師、関係者から 評価を受け、改善策を考える	他者の評価を受け、その結果を踏まえ、活動全体 を振り返り、改善案を考える



[1月9日]  
第8回講座  
4 グループによるプレゼンテーションを行いました。

[同日]  
阪南大学の教職員を迎えてプレゼン後、評価、検討を行いました。

- 5 講座のコンセプト：留学生が日本企業で働く上で必要とされる、社会人としての行動能力を身につける。
- 6 カリキュラムのポイント：講義形式を最小限にとどめ、ロールプレイやディスカッション、ヒアリング、プレゼンテーション、など企業での企画から実施、評価の流れを体感させる。エントリーシート記入や面接で、実践的な研修を通して学んだスキルとマインドをアピールできるようにする。  
日本語教育の専門家がない教育機関でも、キャリアセンターのスタッフ等が、少し日本語に配慮すれば実施可能なカリキュラムとする。

## 事例2

- 1 実施教育機関：追手門大学
- 2 実施形式：B（協力教育機関：エール学園）
- 3 実施講座名：外国人留学生のための就職力アップセミナー
- 4 実施授業時間数：1コマ（1コマ90分）

	実施日	授業内容	ねらい
1	1月16日	留学生のための就職力アップセミナー	①日本の就職活動を知る。母国との違いを知る。 ②企業目線で採用のポイントを理解する。 ③応募書類と面接の具体例を説明する。



[1月16日]

企業経営者の目線で、就職内定に何が必要かを、ワークショップ形式で実施しました。「応募書類のポイント」「採用面接のポイント、面接の実践編」の2点に絞って、セミナーを実施しました。

- 5 講座のコンセプト：留学生に日本の就職活動について理解してもらう。  
企業目線で採用の立場で見て、就職活動を考える視点を持つ。
- 6 カリキュラムのポイント：学生の動機付けのためにも、企業での社長や人事担当者を講師として手配する。



### 事例3

- 1 実施教育機関：日本コンピュータ専門学校
- 2 実施形式：C
- 3 実施講座名：留学生のためのキャリア・ディベロップメント講座
- 4 実施授業時間数：6コマ（1コマ90分）

	実施日	授業内容	ねらい
1	12月 3日	オリエンテーション 就職意識・留学目的確認	参加者の就職意識を探る。 日本に来た目的の再確認。
2	12月 4日	日本人と自分、自分の国説明	学生から見た日本人。 自分の国を外から見たら、どのように見えるか。
3	12月 6日	日本社会	日本の社会習慣などの意味を説明。
4	1月 8日	敬語1 「みんなの日本語49・50課」レベル	就職すると必ず必要になる敬語を基礎から
5	1月 8日	敬語2「応用編」ビジネス会話	1 日目に基礎から学んだ敬語を、実際の場面を想定して会話練習。
6	1月10日	自己PR・面接	自己PR書の作成と面接練習。



【12月6日】  
第3回講座  
日本の社会習慣について学びました。



【1月8日】  
第5回講座  
学んだ敬語を使って会話練習をしました。

- 5 講座のコンセプト：日本で就職する際に必要な知識・礼儀・慣習などを自国と日本を比較検討することで、学生自身に気付かせる。
- 6 カリキュラムのポイント：日本での生活が数年になる学生対象の講義なので、講師が一方向的に話すことより、学生が今まで体験したことや経験したことをあげてもらうことで、より実際的な授業が進められるようにする。

#### 事例4

- 1 実施教育機関：大阪成蹊大学
- 2 実施形式：B（協力教育機関：J国際学院）
- 3 実施講座名：キャリアデザイン講座
- 4 実施授業時間数：3コマ（1コマ80分程度）

	実施日	授業内容	ねらい
1	11月28日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主旨説明</li> <li>・面接の種類とポイント</li> <li>・企業が求める人材とは</li> </ul>	<p>講座の目的を共有する。</p> <p>日本の面接のよくあるパターンとマナー、企業が何を求めるのかを知り、準備する。</p>
2	12月 5日	面接練習① (面接の流れの確認と実践①)	大学配布の質問シートに対して答えさせ、できたこととできなかったことを整理し、改善策を考える。
3	12月12日	面接練習② (実践とフィードバック)	前回できなかったところが改善されているかを確認し、フィードバックする。



[11月28日]  
第1回目講座  
企業が求める人材について話し合いました。



[12月5日]  
第2回目講座  
面接練習を実施しました。

- 5 講座のコンセプト：留学生の就職活動支援。  
留学生として何を意識しておかなければならないか。また、日本企業が外国人に何を求めているかを知る。
- 6 カリキュラムのポイント：頭で分かっているだけで実践に及ばない学生が多いので、今の自分に何ができて何が不足しているのかを体感させることを意識した。

## 事例5

- 1 実施教育機関：清風情報工科学院
- 2 実施形式：C
- 3 実施講座名：就活準備講座
- 4 実施授業時間数：2コマ/週（1コマ45分）

	実施日	授業内容	ねらい
1	10月9日	働く。働くことの意義	アイスブレイクディスカッション。日本企業の外国社員採用理由への理解。
2	10月16日	求職活動Ⅰ。履歴書の書き方1	魅力的な履歴書の理解。志望理由、自分を知る、強み
3	10月23日	求職活動Ⅱ。履歴書の書き方2	自分の履歴書を実際に書いてみる。
4	10月30日	求職活動Ⅲ。面接1	模擬面接演習1。自分の思いの正しい伝え方。
5	11月6日	求職活動Ⅳ。面接2	模擬面接演習2。自分の思いの効果的な伝え方。
6	11月13日	ビジネス基本Ⅰ 8つの意識	顧客、品質、納期、時間、目標、協調、改善、コストへの理解
7	11月27日	ビジネス基本Ⅱ 報連相・5S	指示の受け方と報告相談連絡、ストレス解消法などの理解。
8	12月4日	日本企業理解Ⅰ 現代労働事情理解	雇用形態に対する理解。正社員、派遣、中小企業。
9	12月11日	日本企業理解Ⅱ。人事評価	終身雇用年功序列への理解。成果主義、ロールプレイによる考課の実体験。
10	12月18日	日本企業理解Ⅲ。コミュニケーション能力	社内コミュニケーション、人間関係構築への理解。



日本企業で働く上での留意点においてもワークショップ形式で体得を目指します。終盤は、実際のビジネスシーンにおいて、どのようなコミュニケーションが求められるのかを、ビジネス日本語の習得と絡めながら進めていきました。

- 5 講座のコンセプト：二文化二常識を習得させ、日本企業で働ける人材となれるように指導する。
- 6 カリキュラムのポイント：序盤～前半では履歴書作成方法と面接対応法の授業を実施して、まずは就活が始められる体制を整える。後半では、日本企業理解の概要理解の講義を実施すると共に、日本企業で働く上での留意点もワークショップ形式で体得を図る。同時に、実際のビジネスシーンにおいて、どのようなコミュニケーションが求められるのかを、ビジネス日本語の習得と絡めながら進めて行く。それによって育成コンセプト達成を目指す。

# 「日本文化理解・定着促進実践カリキュラムの開発」

同カリキュラム開発の目的は、将来日本で働く希望を持つ留学生が、地域社会への貢献を目的としたボランティア活動に関与し、地域社会と積極的に交流し、日本の地域社会を理解した生活者として大阪に定着することを目的としております。

学業生活の継続のためのアルバイトで多くの時間を割くことを余儀なくされ、多様な日本文化、地域理解の場への参与を阻害している状況にあることをとらえ、優れた留学生が地域活動により積極的に参加できるようにするために、教育カリキュラムとして開発いたしました。

カリキュラムに沿って指導を受け、指導者の指揮のもとで地域活動等を実践するとともに、その活動ならびに指導状況を取りまとめ日本文化理解定着促進実践カリキュラムとしてここに報告いたします。

各教育機関にて留学生の日本文化、地域理解の教育カリキュラムのご参考になれば幸いです。

## 1. 実施内容について

### ① 実施内容

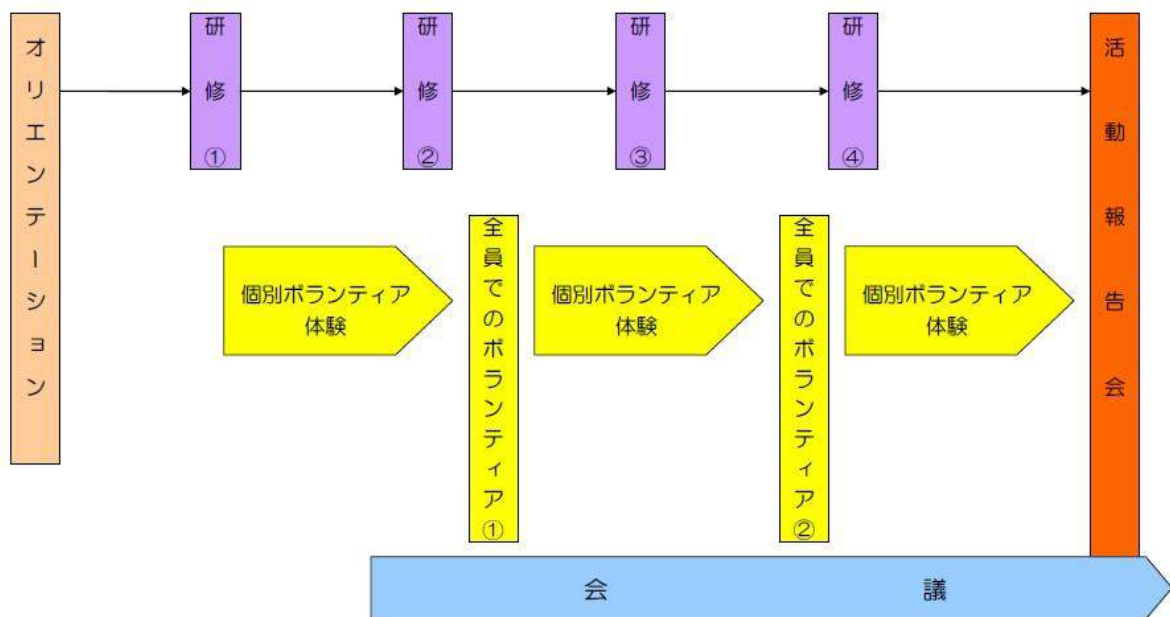
カリキュラム名：「大阪府留学生ボランティア地域社会理解プログラム」

実施主体教育機関：大阪YWCA 専門学校

活動期間：2013年9月～2014年1月（活動報告会を含む）

### ② 今回のプログラムの流れ

大阪府留学生ボランティア地域社会理解プログラムの流れ(2013年度実施例)



今回は活動期間を4か月間と定め、ゴールとして活動報告会を設定しプログラムを組んだ。どこをゴールと定めるかによって、研修や会議の回数を減らすなどの調整は可能となっている。

## 2. 実施カリキュラムについて

大阪府内の大学、専門学校、日本語学校に在籍中の外国人学生を対象に、「留学生ボランティア」を募集。採用された留学生ボランティア（以下、ボランティアという）は、ボランティアとしての研修を受けつつ、実際にイベントボランティア等の活動を体験した。全員参加のイベントは2回。活動参加に当たっては、イベント自体の成り立ちや目的を知り、自分たちの役割を考えるなどの事前準備をするための会議、および、活動後のふりかえりの会議をもった。2回のイベントを終えてからは、留学生ボランティアとしての活動を「報告会」という形で地域社会の人々に伝えるため、研修と会議を重ねた。

### ①概要

#### (1) ボランティア採用（12名）

選考方法：申込書と作文による書類選考を経て、面接官による最終選考を実施。

#### (2) オリエンテーション

#### (3) 研修

#### (4) ボランティア体験

#### (5) 活動報告会（最終活動人数9名）

} 個別ボランティア体験と全員参加のボランティア体験に向けて会議を実施。

### ②実施工程

	実施日	授業内容	ねらい
1	9月19日	オリエンテーション 「事業の説明」「ボランティアの心得を学ぶ」	プログラムの意義と目的を理解する。 チームとしてのスタートを意識する。
2	9月26日	研修① 「ボランティア入門」「自己理解・他者理解・人間関係・コミュニケーション力を学ぶ」	ボランティアとして必要な、人間理解とコミュニケーションの基本、非言語のコミュニケーションの大切さを学ぶ
3	10月5日	研修② 「ボランティア理解」「企画力・アイデア発想法・コンセンサスを学ぶ」	ボランティアについての理解を深める。 企画のプロセスを知り、プログラムへの関わり方を意識する。 アイデアを出しあう時のポイントを知る。 合意に至るためのプロセスを体感する。
4	10月20日	ボランティア体験（全員参加1回目） 大阪ごちそうマラソン	地域の人々との交流を通して、日本理解を深める。 ひとつのチームとして活動することで、「協働」の難しさやすばらしさを体感する。
5	11月16日	研修③ 「コミュニケーション力・広報・問題解決について学ぶ」	「人に伝える」ことの原点に立ち戻って、広報のポイントを学ぶ。 情報を整理する、伝える相手のことを理解することの重要性を体感する。
6	12月7日	ボランティア体験（全員参加2回目） 大阪YWCAクリスマスバザー	3のねらいと同様。
7	12月13日	研修④ プレゼンテーションのポイントを学ぶ	報告会の企画と実施を意識し、伝わるプレゼンテーションのコツを学ぶ
9	1月25日	活動報告会	4ヶ月間の体験や学びをふりかえり、分かりやすい形で発信する。コンセンサスを取りながら、ひとつの企画をまとめ、チームの力を最大限に発揮する。
※	期間内随時	ボランティア体験（個別参加） ※期間内に最低1回は実施すること。	地域の人々と交流し、現場でのコミュニケーション力を高める。
※	期間内随時	会議 ※活動の中で必要であると判断した際に開催する。	課題を意識し、解決する力を養う。会議の議事進行や記録係を担当する、問題解決のための情報収集など、実践的能力を高める。

### 3. ボランティア生の声【感想・意見】※抜粋

- 短い時間の間に、とてもいい友達ができ、非常に楽しかったです。そして、ボランティア活動に参加して、いろんな人に出会ったこともすごくありがたいです。なぜなら、様々な人と出会えて、様々なことが学べます。私自身もだんだん明るくなりました。
- 自分の思っていること、または自分が考えていることをうまく整理して、相手に伝える力が少し上手になりました。また、社会人として、自分1人ではなく、相手の気持ちを読めるようになってきて、コミュニケーションも前よりうまくできました。そして、チームワークの大切さを感じて、協力性のあるように頑張りました。
- 新しい友達がいっぱいできた。普通私の周りには同年の人がいっぱいいるが、わたしより若い人や年寄りの人と出会うことがすごくよかった。
- このプログラムで友だちもたくさんできて、社会人とも知り合いました。知り合った人にイベントや勉強会などを紹介してもらって、色々な勉強になって、毎日の生活も楽しくなってきました。このプログラムに参加して、大阪で新しい私が出てきました。



11月16日  
研修③  
伝えたい情報を整理し、広報のポイントを学ぶ。



12月13日  
研修④  
効果的なプレゼンテーションについて研究。



10月2日  
ボランティア体験①  
大阪ごちそうマラソンでのボランティア活動の様子。



1月25日  
活動報告会  
16名のお客様を迎え、報告会を実施。パワーポイント資料を作成し、活動内容を報告。

#### 【教材について】

この事業のにて開発した教材について、同ホームページ内に掲載しております。

平成25年度大阪府国際化戦略アクションプログラム外国人材活用システム構築 開発カリキュラム  
上記名のバナーをクリックしていただきダウンロードください。